

旧型客車等の概要

1 オハ 352001

(1) 概要及び経緯

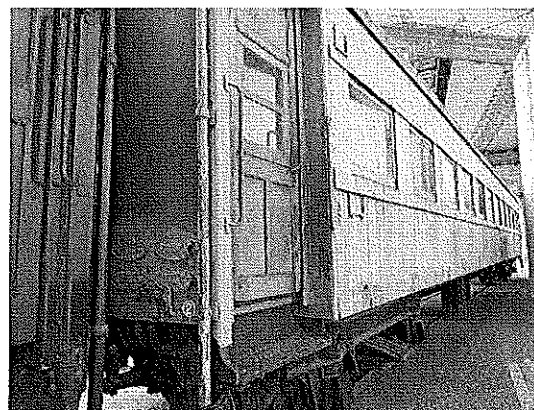
現存する車両で車輪が付いたまま保管されている最後の1両で、現在、JR東日本大宮総合車両センターにある。

昭和14年6月12日に落成した当該車両は、当時の名古屋市熱田区の日本車輛製造株式会社が製造した第1号車である。

岩手県盛岡市の県営交通公園で展示保存されていたが、SL銀河の復活時にJR東日本大宮総合車両センターに持ち込まれた。大宮の鉄道博物館での展示も期待されたが、現在まで活用されていない。

(2) 主要諸元

定員 3等席 88人
 自重 31.6トン～34.5トン
 全長 20メートル
 全幅 2.9メートル
 台車 TR23



(3) 略歴

昭和14年 6月12日	日本車輛製造株式会社（名古屋）で、スハ 33650 として落成
昭和16年	オハ35形トップナンバーへ改番 オハ 351
昭和41年11月16日	国鉄盛岡工場で電気暖房を取り付けて改番 オハ 352001
昭和47年 6月28日	廃車 最終配置は秋田運転区
以降	岩手県盛岡市の岩手県営交通公園で静態展示 JR東日本大宮総合車両センターで保管中

2 供奉車 344

(1) 概要及び経緯

天皇陛下がご乗車されるお召列車で、宮内庁関係者、警察官、鉄道関係者等の随行員が乗車する車両である。昭和7年3月に大宮工場で製造され、昭和61年に廃車され、現在はJR東日本大宮総合車両センターで保管されている。

1等及び2等の合造車で、前位側に供進所(湯沸しや流しを装備)があり、1等室は回転いす17席、2等席は固定ボックス席16席を配置し、中間に和式トイレを備えている。

(2) 主要諸元

定員 1等席：17人
2等席：16人
自重 39.2トン
全長 20メートル
全幅 2.9メートル
台車 TR73



(3) 略歴

昭和7年3月	鉄道省大宮工場にて落成
昭和61年	廃車 最終配置は品川客車区
以降	JR東日本大宮総合車両センターで保管中

※数回の一般公開が行われたが、現在は非公開